

わらびて

126号



円墳の周溝より伏せた状態で並んで出土した土器

● 古墳時代中期後葉～後期前葉の群集墳 (奥州市胆沢区 沢田遺跡)

主な内容

- 平成23年度に市町村教育委員会等が行った調査
- 今年度の発掘調査計画 (公財) 岩手県文化振興事業団
- 全国の道府県から岩手県へ派遣された専門職員の紹介
- 年間行事予定・人事動向

沢田遺跡は、奥州市胆沢区南都田字沢田62ほかに所在し、JR水沢駅から西に約4.0km、国指定史跡の角塚古墳からは北東約700mに位置します。調査では、古墳時代中期後葉～後期前葉頃の円墳4基と墳丘をもたない、いわゆる土壙墓12基が見つかりました。このうち、円墳の墳丘および主体部はすでに削平されて見つかりませんでした。周溝からは古墳時代の赤彩土師器、鉄斧、黒曜石等が出土しています。他に土壙墓からは琥珀玉、ガラス玉、石製白玉などの副葬品も見つかっています。また埋葬施設には壁面に沿って川原石を敷き並べている形態のものもあり、被葬者の一部に古墳文化圏の墓制の影響を受けている人達がいたことが明らかになりました。被葬者については同時期の集落遺跡で、東に隣接する石田Ⅰ・Ⅱ遺跡の居住者をはじめ、複数の地域有力者の共同墓地であった可能性が考えられます。

今回の調査は本州最北端の前方後円墳として知られる角塚古墳が築造された古墳時代中期後半以降の社会を知る上で、貴重な発見となりました。

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 溜 浩二郎

【所報名について】 「わらびて」は蕨手刀(わらびてとう)に由来しています。蕨手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で柄頭が早蕨(さわらび)の芽を巻いた状態に似ていることからこうよばれます。群集墳などから出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。

平成23年度に市町村等が行った県内発掘調査のまとめ

県内各地で発掘調査が行われました

市町村教育委員会等の調査

平成23年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査は右頁に示したとおりです。多くは住宅建築や道路建設に関連した事前調査です。これらの調査の中には、東日本大震災からの復興に関する調査も含まれています。また、史跡指定を目的とした調査あるいは保存された史跡の環境整備や内容確認の調査も含まれています。

縄文時代

一戸町の国指定史跡御所野遺跡では、昨年度に引き続き盛土遺構の調査が実施されました。宮古市では、檜内I遺跡、重茂館遺跡群、千鶏IV遺跡などで復興関係の個人住宅対応発掘調査が行われました。檜内I遺跡では縄文時代中期後半の竪穴住居跡7棟が検出されたほか、フラスコ状土坑などが重複して検出されるなど、継続して営まれた集落跡であることが確認されました。同じく、千鶏IV遺跡では縄文時代中期後半から後期前半にかけてのフラスコ状土坑が35基検出されました。大船渡市では、宮野貝塚で個人住宅対応の調査が行われ、竪穴住居跡3棟等が検出されたほか、配石遺構2基が検出されるなど縄文時代の集落跡の一部であることが確認されました。花巻市では、曲谷地遺跡で調査が行われ、縄文時代の柱穴跡が多数検出されました。

古代

奥州市の国指定史跡胆沢城跡では、内容確認調査が行われ、竪穴住居跡3棟、掘立柱建物跡などが検出されたほか、外郭南門から政庁にかけての道路跡と思われる遺構が検出されました。

同じく胆沢城跡では、外郭南辺東側において、外郭外溝及び内溝と築地塀軸線を確認するための調査が行われ、外郭外大溝が確認されました。同じく杉の堂遺跡では、古代の竪穴住居跡、土

坑等が検出され、土坑内からは墨書土器も出土しました。また、同調査区からは縄文時代晩期中葉から後葉にかけての遺物が多数出土し、捨て場跡であると考えられます。

矢巾町の国指定史跡徳丹城跡では、造営1200年を迎える来年度を控え、今後の史跡整備のために、外郭西門北東地区の内容確認調査が実施され、掘立柱建物跡2棟、溝跡、土坑などが確認されました。

北上市の国指定史跡国見山廃寺では、国見山頂周辺の内容確認調査を行いました。同じく下江釣子羽場遺跡では、平安時代の竪穴住居跡5棟などが検出されたほか、鉄製農具・鉄製品も多く出土しており、集落の主要部分であることがわかりました。

金ヶ崎町の鳥海柵遺跡では、昨年度に引き続き伝三の丸区域において、一昨年度検出された四面廂建物跡をはじめとする掘立柱建物跡の内容確認調査が実施されました。二戸市の大坊平遺跡では平安時代の竪穴住居跡などが確認され、集落跡の一部であることがわかりました。

中近世

平泉町の国特別史跡無量光院では、史跡整備に向け、本堂跡の基壇と西島の内容確認調査を実施し、塼、陶器、中国産磁器等が出土しました。同じく、国史跡中尊寺跡では大池跡の内容確認調査を実施し、堤防が2時期にわたって築かれていることがわかりました。同じく、個人住宅建設に伴う発掘調査が志羅

山遺跡で行われ、12世紀の柱穴、土坑等が確認されました。同じく泉屋遺跡では、12世紀の建物跡、道路側溝等が確認されました。二戸市の九戸城跡では、二ノ丸東部平場の内容確認調査を実施し、竪穴遺構、土坑16基、幼

児の頭骨が埋められた墓墳などがあることがわかりました。一関市の骨寺村荘園遺跡では、内容確認調査を行いました。

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課

平成23年度に市町村教育委員会等が行った調査

*時代の略… 縄/縄文、弥/弥生、古/古墳、奈/奈良、平/平安、代/古代、中/中世、近/近世

NO.	遺跡名	所在地	調査主体	時代	種別
1	上里遺跡群(晴山遺跡)	二戸市	二戸市教委	縄文・中世	集落跡・城館跡
2	泉屋遺跡	平泉町	平泉町教委	縄・平・中・近	屋敷地
3	志羅山遺跡	平泉町	平泉町教委	平・中・近	屋敷地
4	山王山遺跡	盛岡市	盛岡市教委	縄文・平安	集落跡
5	台太郎遺跡	盛岡市	盛岡市教委	奈良・平安	集落跡
6	台太郎遺跡(第74次)	盛岡市	盛岡市教委	奈・平・中	集落跡
7	上里遺跡群(晴山遺跡)	二戸市	二戸市教委	縄文・中世	集落跡・城館跡
8	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平安	集落跡
9	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平安	集落跡
10	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平安	集落跡
11	袖の平遺跡	軽米町	軽米町教委	縄文・平安	散布地
12	大開遺跡	軽米町	軽米町教委	縄文・平安	散布地
13	樫内I遺跡	宮古市	宮古市教委	縄文	集落跡
14	祇園II遺跡	平泉町	平泉町教委	平安	散布地・その他(寺社)
15	鎌倉街道跡	紫波町	紫波町教委	中世	その他(鎌倉街道)
16	古道藩境塚	紫波町	紫波町教委	近世	その他(藩境塚)
17	九郎館	奥州市	奥州市教委	中世	城館跡
18	荒谷前II遺跡	遠野市	遠野市教委	縄文	散布地・集落跡
19	浜峠II遺跡	遠野市	遠野市教委	縄文・近世	集落跡・その他(狩場)
20	上里遺跡群	二戸市	二戸市教委	縄文・中世	集落跡・城館跡
21	横山遺跡	二戸市	二戸市教委	奈良・平安	散布地・集落跡
22	高前壇II遺跡	北上市	北上市教委	平安	集落跡
23	山口館跡	宮古市	宮古市教委	奈・平・中	城館跡・祭祀跡
24	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平安	集落跡
25	細谷地遺跡	盛岡市	盛岡市教委	平安	集落跡
26	細谷地遺跡	盛岡市	盛岡市教委	平安	集落跡
27	重茂館遺跡群	宮古市	宮古市教委	縄文・中世	集落跡・城館跡
28	上里遺跡群(晴山遺跡)	二戸市	二戸市教委	縄文・中世	集落跡・城館跡

NO.	遺跡名	所在地	調査主体	時代	種別
29	細谷地遺跡	盛岡市	盛岡市教委	平安	集落跡
30	鳥海欄遺跡(西根遺跡)	金ヶ崎町	金ヶ崎町教委	奈良・平安	集落跡・城館跡
31	平内II遺跡	洋野町	洋野町教委	縄文	散布地
32	宮野貝塚	大船渡市	大船渡市教委	縄文・弥生	貝塚
33	里館遺跡	盛岡市	盛岡市教委	中世	城館跡
34	南滝田遺跡	花巻市	花巻市教委	平安	散布地
35	樫内I遺跡	宮古市	宮古市教委	縄文	集落跡
36	上里遺跡群(晴山遺跡)	二戸市	二戸市教委	縄文・中世	集落跡・城館跡
37	上里遺跡群(晴山遺跡)	二戸市	二戸市教委	縄文・中世	集落跡・城館跡
38	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平安	集落跡
39	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平安	集落跡
40	弘川I遺跡	宮古市	宮古市教委	縄・奈・平・中	集落跡
41	下江釣子羽場遺跡	北上市	北上市教委	平安	集落跡
42	千鶏IV遺跡	宮古市	宮古市教委	縄文・弥生	集落跡
43	曲谷地遺跡	花巻市	花巻市教委	縄文・平安	散布地
44	刈屋清水野遺跡	宮古市	宮古市教委	縄文	散布地
45	在府小路遺跡	二戸市	二戸市教委	縄・中・近	散布地・城館跡
46	杉の堂遺跡	奥州市	奥州市教委	縄・弥・奈・平	集落跡
47	焼野遺跡	盛岡市	盛岡市教委	奈良・平安	集落跡
48	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平安	集落跡
49	夕覚遺跡	盛岡市	盛岡市教委	平安	散布地
50	安庭館遺跡	盛岡市	盛岡市教委	縄文・中世	城館跡
51	三日町II遺跡	平泉町	平泉町教委	奈良	散布地
52	矢盛遺跡	盛岡市	盛岡市教委	平・中・近	集落跡
53	樫内I遺跡	宮古市	宮古市教委		
54	上里遺跡群(晴山遺跡)	二戸市	二戸市教委	縄文・中世	集落跡・城館跡
55	伊保内館	九戸村	九戸村教委	縄・中・古	集落跡・城館跡

(届け出順)

7市1町17遺跡を調査

平成24年度の埋蔵文化財センター発掘調査

平成24年度の発掘調査は、これまでの通常調査と復興関連調査を予定しています。通常調査は県内7市1町で、17遺跡、81,250㎡を対象に調査を開始しています。時代別にみると、縄文時代と平安時代の遺跡が多いものと予測されます。次に、注目されるいくつかの遺跡を紹介します。

縄文時代では、遠野市の新田Ⅱ遺跡と北上市の千苺遺跡などが調査されます。どちらも昨年に継続する調査で、大量の遺物が出ることが予測されます。新田Ⅱ遺跡は縄文時代後期と晩期の遺物やクルミやトチの実などが古川の跡からたくさん見つかっています。

千苺遺跡は晩期と中期の遺物が多く含まれる層が広がっていますので、大きな集落になることも期待されます。

古墳時代から平安時代では、奥州市の石田Ⅰ・Ⅱ遺跡や盛岡市の二又遺跡、先ほどの北上市千苺遺跡等があります。いずれも昨年に続く調査で、大きな集落跡になりそうです。

石田Ⅰ・Ⅱ遺跡は最北の前方後円墳で知られる奥州市胆沢区の角塚古墳を築いた人々の集落もあったようです。

千苺遺跡は北上川の西側にできた自然堤防上に作られた集落のようです。縄文時代の遺跡の上に平安時代の集落が重なっています。

二又遺跡は、9世紀の初めに志和城が築かれた後の人たちの集落で、昨年は大きな建物跡も見つかっています。集落の構造や内容がさらに詳しくわかると思います。

その他、古城林遺跡など奥州市前沢区でも12世紀代の遺構の発見が増加すると思います。平泉町の無量光院跡も県道改良事業で発掘調査されますので、注目を集めそうです。

中世の城館では二戸市不動館跡と宮古市松山館跡があります。不動館跡は昨年からの継

続調査です。西側の堀や急傾斜の切岸などが調査され、城館の構造がわかる資料が追加されるものと思われます。

松山館跡は、急傾斜地と狭い尾根からなる広大な城館の一部が調査されることになりそうです。宮古地区では狭い尾根上にも古代の集落が形成されている例がありますので、ここもそのような住居跡や工房の存在も予測されます。

復興関連の調査は、道路関係と住宅移転関連が予測されます。道路関係は三陸縦貫自動車道と東北横断道、そして国道106号がその対象になっています。

住宅移転の関連では、岩手県教育委員会が他県からの支援も受けて試掘調査をしております。その結果を整備計画と合わせて検討・調整し、発掘調査範囲が決定されます。

1日でも早く復興を成し遂げるために、全力を挙げて取り組む意気込みで、いつでも本調査に入れるように準備を整えているところです。

(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター調査課



新田Ⅱ遺跡 晩期包含層遺物出土状況

平成24年度埋蔵文化財発掘調査計画

H24.6.11現在調

NO.	遺跡名	所在地	面積m ²	調査予定期間	事業名	委託者
1	千苺	北上市	21,740	4/11～11/30	北上川中流域河川改修工事	岩手河川国道事務所
2	立花南		634	6/1～6/30		
3	小鳥崎館		2,100	4/11～5/31		
4	新田Ⅱ	遠野市	2,895	4/10～7/31	東北横断自動車道釜石秋田線新直轄事業	盛岡地方振興局土木部
5	二又	盛岡市	2,830	7/16～10/31	主要地方道盛岡和賀線道路改良工事	
6	無量光院跡	平泉町	1,710	6/1～11/30	県道中尊寺通り改良事業	県南広域振興局土木部
7	花立Ⅰ・Ⅱ・他		2,830	6/1～11/30		
8	不動館	二戸市	4,645	4/10～7/15	一般県道改良事業	県北広域振興局土木部
9	松山館	宮古市	16,000	4/10～6/30	宮古西道路	沿岸広域振興局土木部
10	石田Ⅰ・Ⅱ	奥州市	3,497	4/9～6/30	経営体育成基盤整備事業 南下幅北部地区	県南広域振興局農政部農村整備室
11	沢田		790	4/9～5/15		
12	古城林		5,371	4/9～7/15	経営体育成基盤整備事業 古城2期地区	
13	八反町		475	4/9～7/15		
14	漆町		6,568	7/1～10/31	経営体育成基盤整備事業 都鳥3期地区	
15	小林繁長		5,400	7/16～9/30	経営体育成基盤整備事業 白山地区	
16	石山		2,700	10/1～11/30	経営体育成基盤整備事業 石山地区	
17	石畑		一関市	1,065	4/10～5/31	
合計			81,250			



千苺遺跡 住居跡遺物出土状況



不動館跡 調査前空撮全景

～ 今年度、岩手県へ派遣された専門職員の紹介 ～

派 遣 職 員 の 紹 介



藤原 秀樹

ふじわら ひでき

1. 北海道教育庁生涯学習局文化財・博物館課主任 (勤続20年)
2. 縄文時代 (特に墓制等)
3. 岩手県出身です。高校までと大学卒業後すぐ (沼宮内高校) は岩手県に住んでいました。小学校時代 (小学校) は学区内の厨川柵?・安倍館や隣接する大館町遺跡を巡り、江戸時代の石碑も実測していました。その後北上して北海道で就職しましたが、本籍地は今でも滝沢村です。震災直後の5月には石巻市で避難所運営にも携わり、津波の惨状を見ました。郷土、岩手県のすみやかな復興とふるさとの宝である文化財保護との両立のため頑張ります。



宇田川 浩一

うだがわ こういち

1. 秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室文化財主査 (勤続13年)
2. 考古学
3. 派遣元の秋田県では、発掘調査と開発に伴う埋蔵文化財調査の調整をしておりました。秋田就職前に青年海外協力隊員としてパナマに行きました。また、秋田県と中国甘粛省の職員交流で、博物館に7ヶ月勤務しました。復興事業を進めるにあたり、埋蔵文化財調査の進捗が要のひとつとなっています。遺跡の存在が「復興事業の妨げになる」という誤った認識を持たれないよう、業務を進めたいと思います。



永嶋 豊

ながしま ゆたか

1. 青森県教育庁文化財保護課三内丸山遺跡保存活用推進室 文化財保護主任 (勤続14年)
2. 縄文時代・弥生時代の土器・集落
3. 長崎県長崎市出身です。仙台で大学生活を過ごし、29歳の時に青森県に就職しました。青森県では環状掘立柱建物群が検出された縄文時代後期後葉の上野尻遺跡の調査などを担当しました。被災者の方の生活と埋蔵文化財保護の両立を目指します。



深澤 敦仁

ふかさわ あつひと

1. 群馬県教育委員会事務局文化財保護課 指導主事 (勤続22年)
2. 日本考古学 (古墳時代)
3. 群馬県から参りました深澤です。大学卒業後、群馬県に就職し早20年が経ちましたが、その大半を埋蔵文化財行政に携わることで過ごしてきました。温泉と古書が好きのほか、The Beatlesと大瀧詠一のファンです。私がこれまでに培ってきた知識と技術と経験を、岩手県の復興のために活かせるよう、精一杯頑張ります。



安井 健一

やすい けんいち

1. 千葉県教育庁教育振興部文化財課 文化財主事 (勤続23年：財団派遣19年、市町村派遣3年)
2. 縄文時代 (関東地方後・晩期土器、集落、土偶など)
3. 現在は千葉県民ですが、生まれは青森県むつ市で小学5年から高校1年まで同八戸市に在住しておりましたので、自分のルーツに戻ってきたような印象を抱いております。よろしくお祈いします。今回の過去に例を見ないほど甚大な被害に対し、ボランティア活動などに携わる余裕もなく悶々とした日々を送っていましたが、専門分野で貢献できる機会が巡ってきたことを大変ありがたく思っています。非力ではありますが精一杯努力したいと思ひます。



北原 治

きたはら おさむ

1. 滋賀県教育委員会事務局文化財保護課副主幹 (勤続19年)
2. 考古学
3. 滋賀県教育委員会所属。阪神淡路大震災にも、復興支援調査の初年度に兵庫県教育委員会に派遣され、埋蔵文化財発掘調査に従事した経験を持っています。自然と温泉をこよなく愛する関西人です。兵庫県の時と同様に、岩手県の皆さんの復興・発展の手助けとなるよう頑張っていきます。



田村 隆太郎

たむら りゅうたろう

1. 静岡県教育委員会事務局文化財保護課 主査 (勤続15年)
2. 考古学 (古墳時代)
3. 静岡県では、埋蔵文化財の本発掘調査 (主に新東名高速建設に伴う発掘調査) を12年間、埋蔵文化財に関する各種調整を2年間担当しました。考古学研究においては、古墳時代中・後期の墓制等について主に静岡県の資料を基に活動してきました。文化財の保護が果たす将来への役割について意識し、考えながら臨みたいと思ひます。



横田 明

よこた あきら

1. 大阪府教育委員会事務局文化財保護課主査 (勤続23年)
2. 歴史考古学
3. 大阪で生まれ、大阪で育った生粋の温和大阪人です。昔から東北地方は好きなどころで、遠野や平泉は何度か行ったことがあります。今回岩手で復興のお役に立てることとなり、ある意味幸せです。よろしくお祈いします。遺跡や文化財はその土地の歴史や、生活の知恵の生き証人です。遺跡調査を通して、東北文化の振興の一端を担うことができれば、望外の喜びであります。



平 美典

ひら よしのり

1. 鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財研究員 (勤続9年)
2. 日本考古学 (弥生)
3. 鹿児島から来ました。派遣元では主に高速度道路関係 (南九州西回り自動車道・東九州自動車道) の調査・報告書に従事していました。東北生活は初めてで、見るもの聞くもの全てが興味深い毎日です。あと、岩手県の広さにビックリです。実際に被災地を見て、少しでも早く復興してもらいたいという気持ちが益々強くなりました。どれだけお役に立てるかわかりませんが、微力ながら精一杯頑張りたいと思います。



長谷部 善一

はせべ よしかず

1. 熊本県教育庁文化課 参事 (勤続21年)
2. 考古学
3. 熊本では近年、主に九州新幹線建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査に携わり、その後調査報告書を作成しながら庁内で調整業務に携わってきました。これまでの経験を活かし、微力ながら頑張りたいと思います。

平成24年度 岩手県埋蔵文化財センター 年間行事予定

〈一般向け〉

■ 第33回埋蔵文化財展

1. 期 日 / 平成24年11月22 (木) ~ 25日 (日)
2. 会 場 / 軽米町 農村環境改善センター
3. 内 容 / 埋文センターが発掘調査した代表的な遺跡と注目された出土品と写真を展示します。

■ 第34回埋蔵文化財公開講座

1. 期 日 / 平成25年2月16日 (土)
2. 会 場 / 岩手県民会館中ホール
3. 内 容 / 第一線の研究者を講師として招き、考古学及び関連分野をテーマにした講演を行います。詳細は決まり次第ホームページなどを通じてお知らせします。

人事動向 (平成24年4月1日付)

岩手県立埋蔵文化財センター

● 転 入
所 長 / 西村 文彦
文部科学省官房文教施設部計画課整備計画室室長補佐
副所長 / 佐々木 一成 岩手県立博物館副館長

● 転 出
文部科学省初等中等教育局参事官付参事官補佐 / 錦 泰司 (兼) 所長
岩手県立図書館長 / 中村 英俊 (兼) 副所長

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

● 転 出
(公財) 岩手県文化振興事業団博物館学芸調査員 / 川又 晋
(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 文化財調査員

● 退 職
高橋 義介 / 調査第二課長

発 行 岩手県立埋蔵文化財センター
編 集 (公財) 岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185
電 話 019-638-9001
E-mail i-maibun@echna.ne.jp
URL http://www.echna.ne.jp/~imaibun/
発行日 平成24年6月29日
印 刷 河北印刷株式会社